

発掘ってなあに

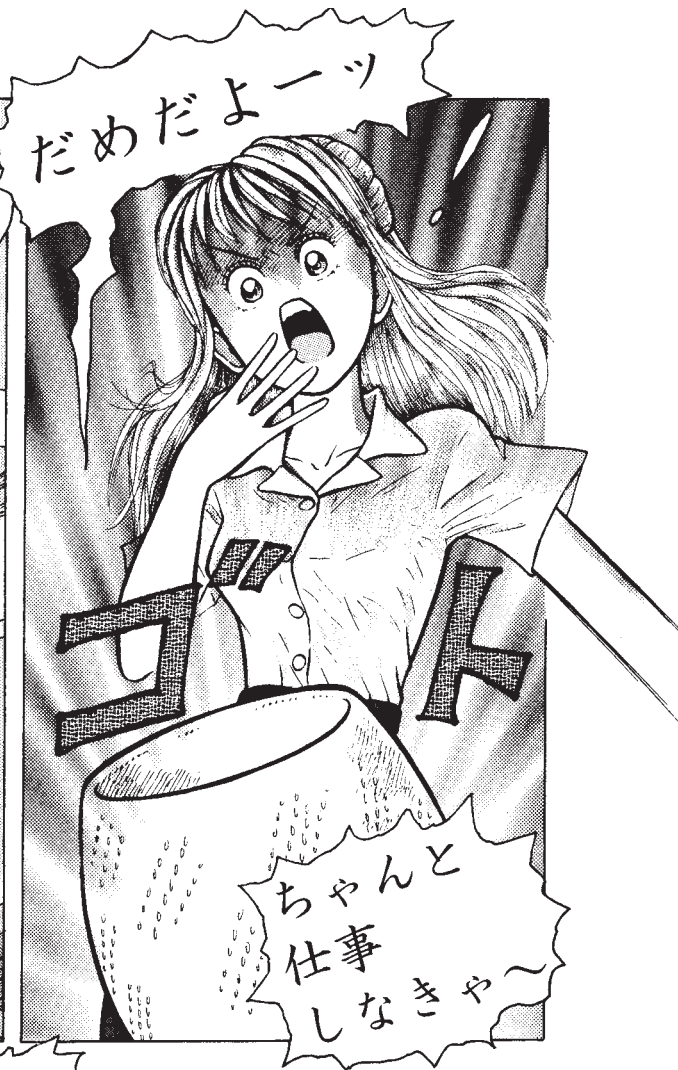


縄文土器篇



土器・・・わたしたちの先祖が生み出した偉大な発明・・・
一万年の太古から営まれてきた悠久なる文化に、
さあ、ふれてみましょう・・・





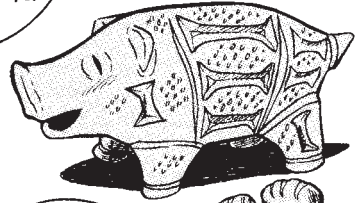
1 土器とは

釉薬を使わないで
焼いた器を
土器っていうんだ!

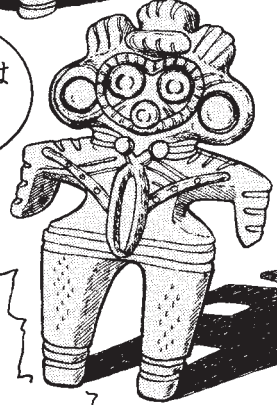
こね

粘土って
自由に形が
作れるのよね

ぼくは器じゃない
から土製品



あたしは
土偶



焼くときーっ

粘土がとけて
堅くなるんだよーっ

800℃

アチ

アチ

すばらしいわ
土器って、人類初の
「化学製品」なのね

日ごろの
うらみ
なんちやて..

縄文土器って
世界最古
なんでしょう？

豆粒文土器(イメージ)

約1万2千年前

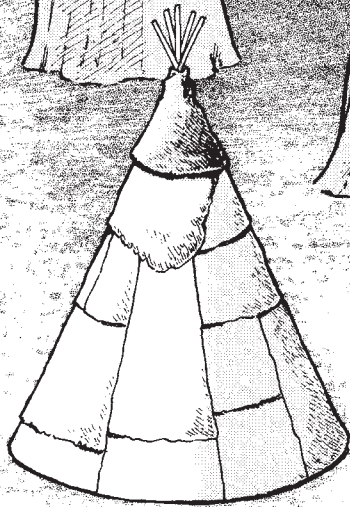
土器の発明って
人々の暮らしに
どう関係して
きたのかしら？

ナイスな質問だねっ
なるみクン

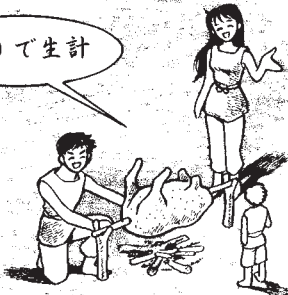
つまりね..

先土器時代(土器はまだ無い)

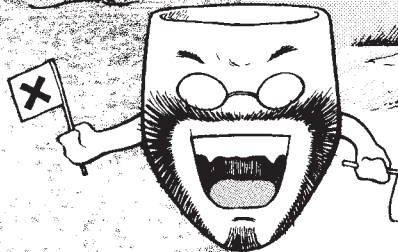
縄文時代(土器を使い始める)



狩りで生計



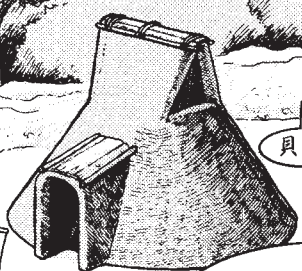
テント



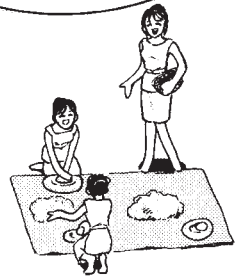
土器って
運びづらい
だろー？

だから移動しながら
くらしてる人々には
使われにくいんだね

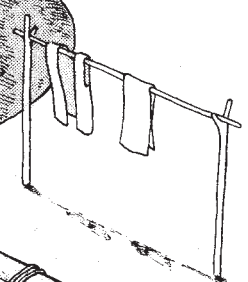
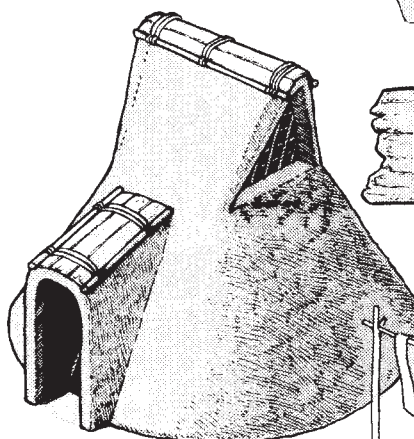
貝塚



定住性の高い
人々が使う
ものなんだっ！



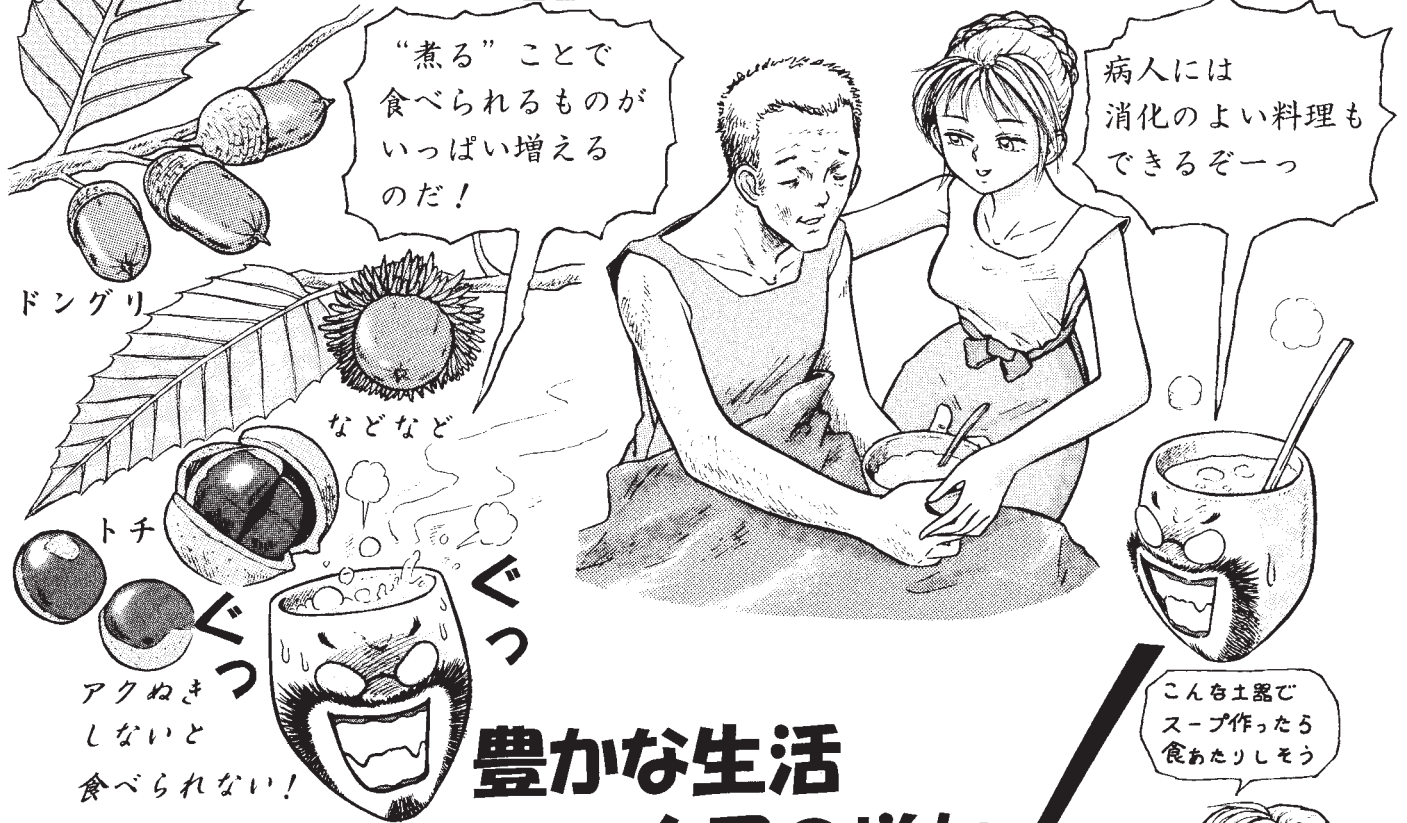
ムラ



しっかりした
竪穴住居



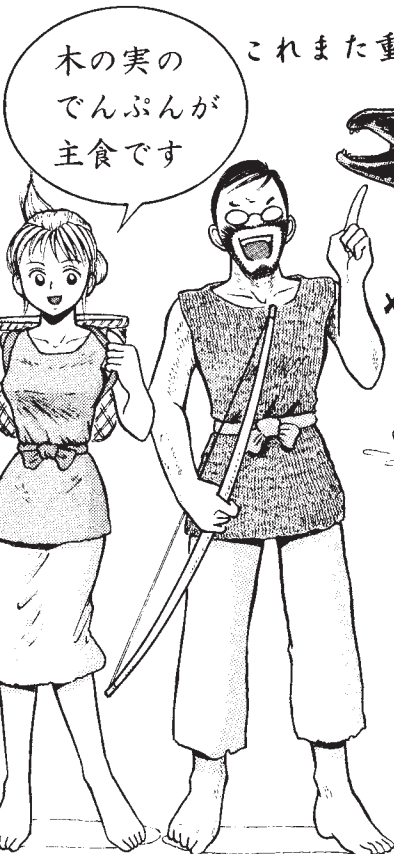
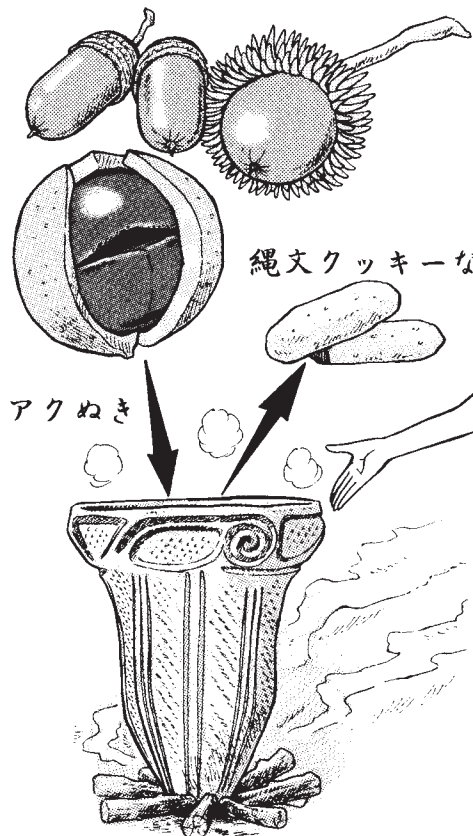
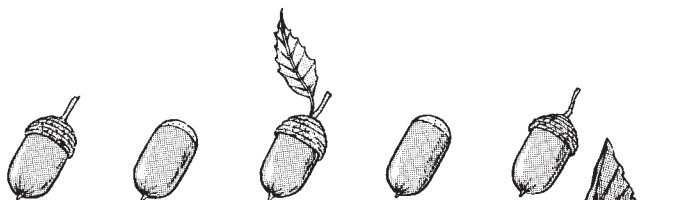
2 暮らしと土器こーか



豊かな生活 人口の増加

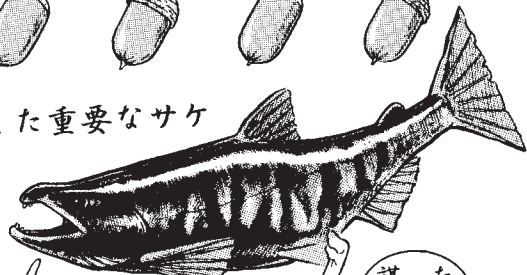


3 縄文時代の食卓



木の実の
でんぷんが
主食です

これまた重要なサケ



謀った
な〜っ

わーい

動物タンパクは
副食ってところ
かな？



あら？
個人の食器は無いのね

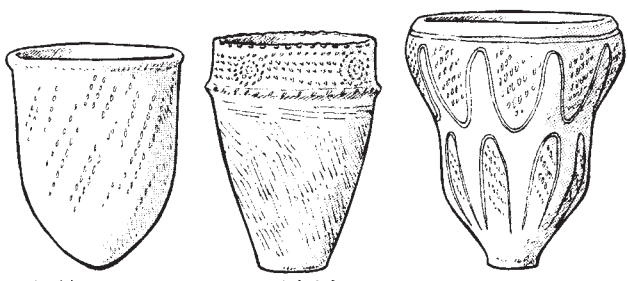
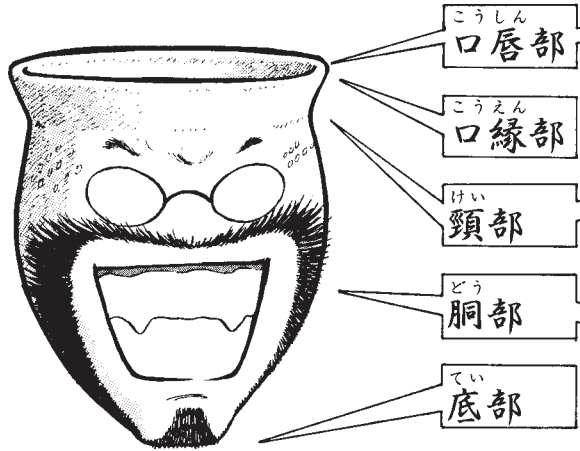
原始共同体社会
だからねーっ

“わたしのものは
みんなのもの”
みたいなね

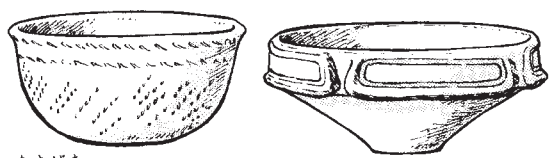


4 縄文土器のかたち

人間とおなじですね



深鉢形土器 (縄文草創期から)



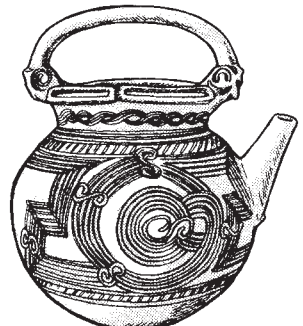
浅鉢形土器 (縄文前期から)



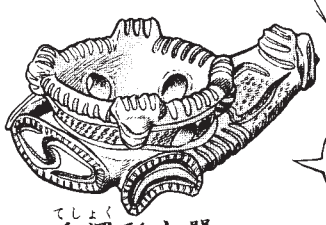
深鉢形土器が縄文土器の主流だ!



壺形土器



注口土器



手燭形土器



いろいろな形があるんですね

わたしたちは同じ縄文土器でも若いほうです

5 土器型式の流れ

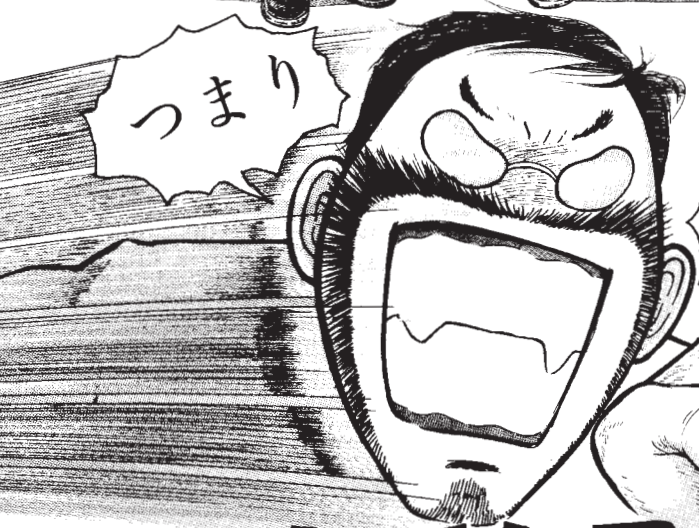
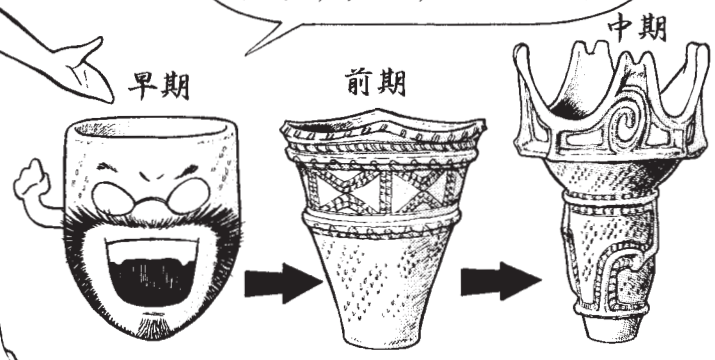


ダセエ
なにコレ化石イ?



ってゆーかァ
ファッションにも流行があるようにイ〜

土器の形にも
はやりすたりがあるのサ



つまり

土器は遺跡の年代を知る手がかりなのだヨ

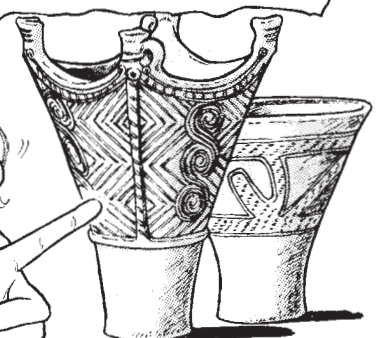
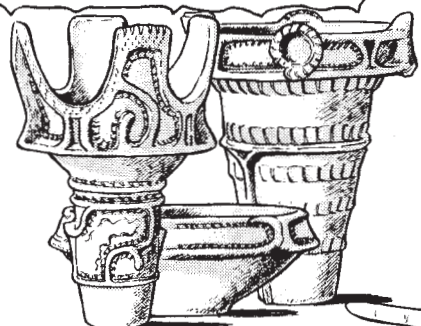
はい

きわめるべし

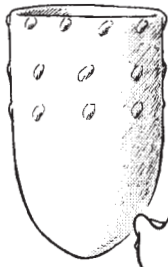
土器はそのスタイルにより、グルーピングが可能だ！これを「型式」と呼ぶ！



その土器の「型式」が遺跡の年代や文化圏まで教えてくれるのだ！



① 縄文時代草創期(1万2千年前~1万年前)



豆粒文土器
(イメージ)



長崎県泉福寺洞穴の土器が世界最古なんですよね

今はそうとも言えないぞ

ただ、草創期の土器は、あまり例がないんだ



はじめての土器

土器とはいったいいつどこで出現したのだろうか。発見事例が少なく、いまだ正確には答えられない。現時点で世界最古の土器は、実は青森県でみつがっている。大平山元I遺跡の土器は、放射性炭素年代測定法によると、およそ16,500年前のものだ。丸底の深鉢と推測され、はじめての土器に限りなく近いものと言える。しかしこの年代をみると、いわゆる「縄文土器」とのつながりは判然としない。

どのようにして土器は発明されたのであろうか。一説によると、鳥の巣や編みカゴ、革袋などをモデルとして、それに似せて作り始めたという。偉大な発明大賞をあげたい。



マッキーノ調査員

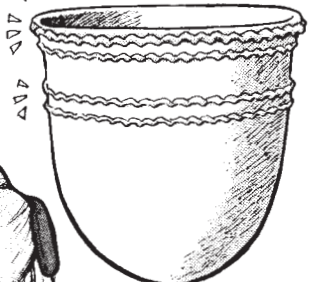
市原市南原遺跡



市原でも1979年に発見されてるぞ

うわあ

細かい粘土紐をはりつける



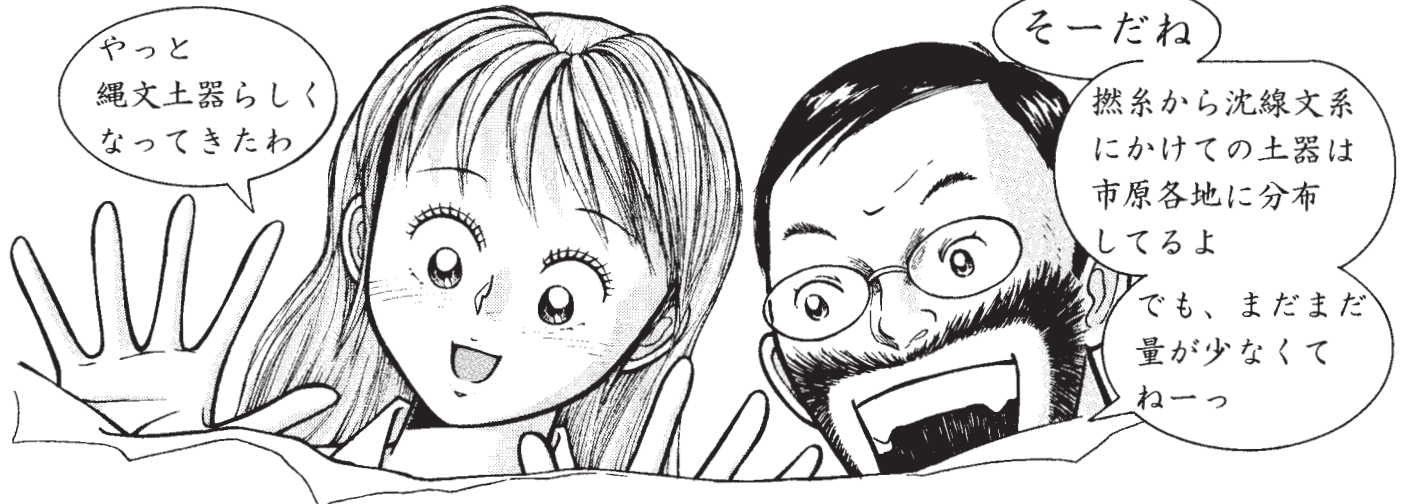
イメージ

せんとうき
尖頭器

りゅうきせんもん
隆起線文土器!

古いタイプの石器もいっしょに出土してるのね

② 縄文時代早期(1万年前～6千年前)



やっと
縄文土器らしく
なってきたわ

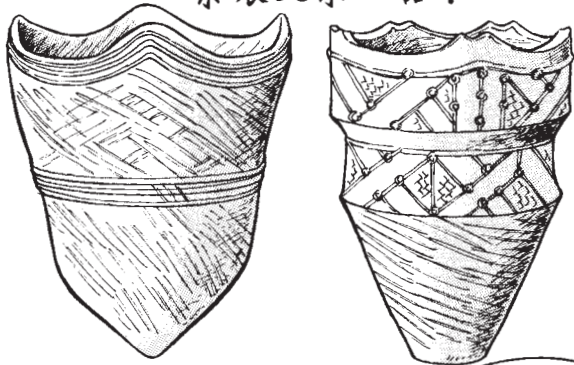
そーだね

撚糸から沈線文系
にかけての土器は
市原各地に分布
してるよ

でも、まだまだ
量が少なくて
ねーっ

とうかんべた 市原市東間部多遺跡・花和田遺跡

じょうこんもんけい
条痕文系土器!



土器の量が
増えてくるのは
早期の終わりに流行した
条痕文系土器からだ!

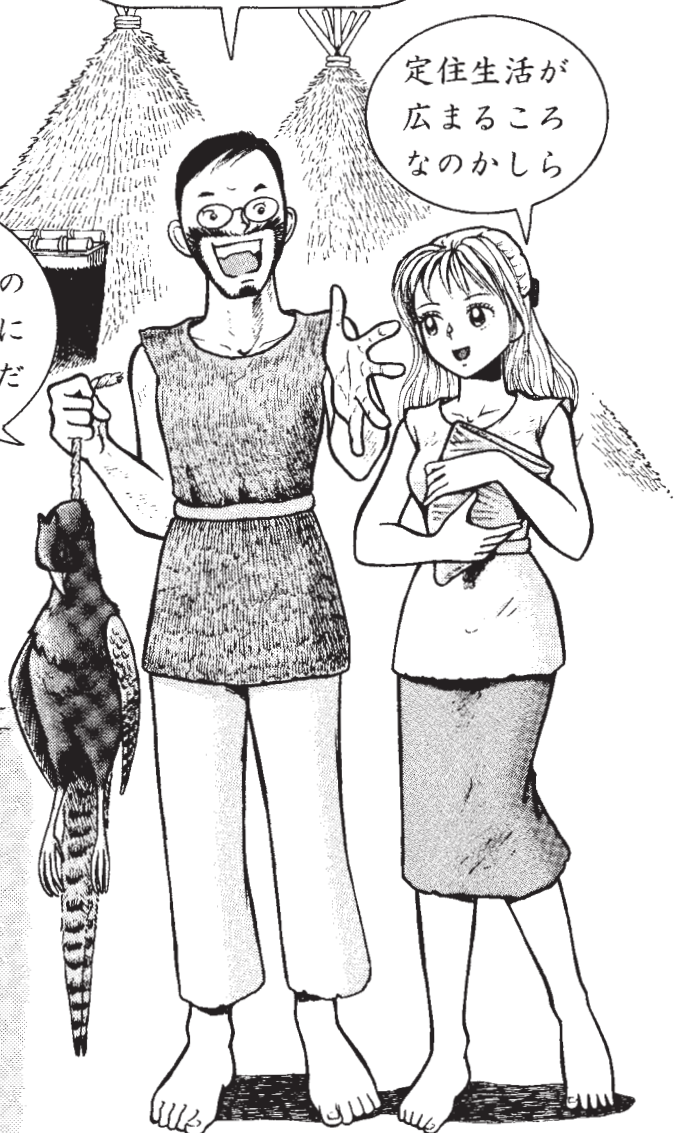
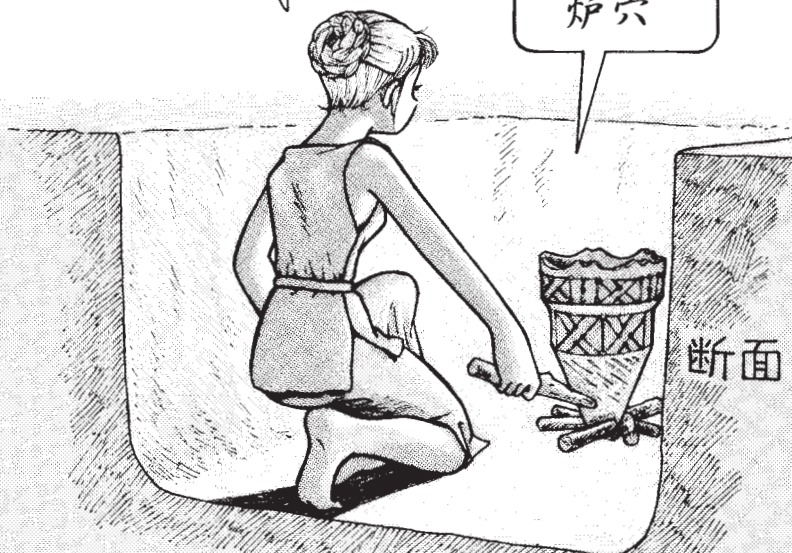
定住生活が
広まるころ
なのかしら

このころはまだ
家の外で炊事
するのが普通
でした

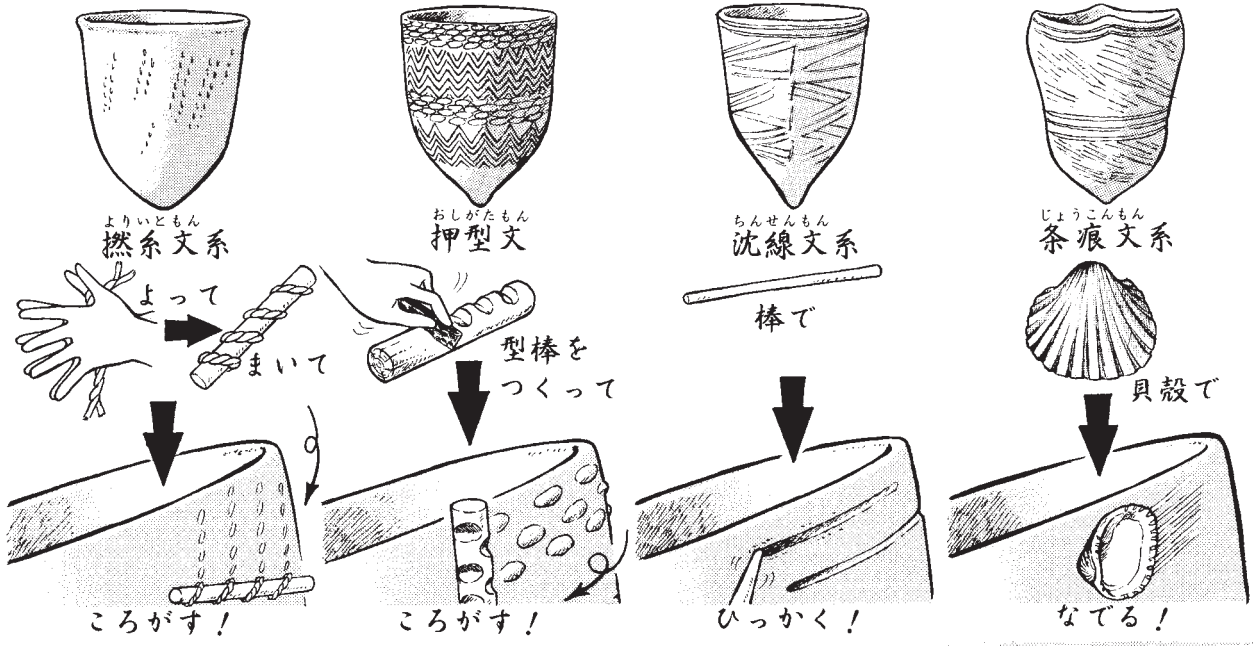
そうだね
ようやく人々の
くらしが豊かに
なってきたんだ
ろうね

ろあな
炉穴

断面



早期の文様あれこれ

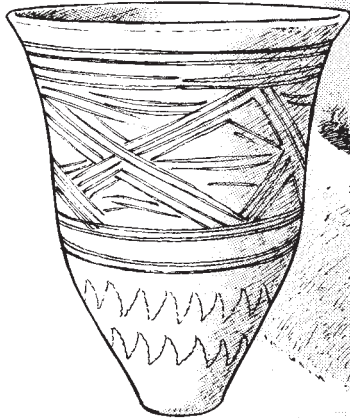


③ 縄文時代前期 (6千年前～4千5百年前)

市原市天神台遺跡



せきやま
関山式土器



うきしま
浮島式土器



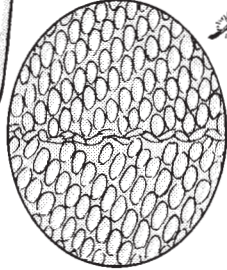
人々が本格的に
定住生活を始めた
時期だ！

縄文集落！

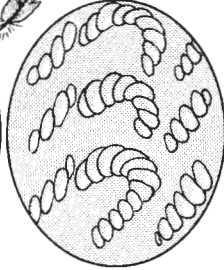
貝塚

土器の文様も
だんだん複雑に
なってきましたね

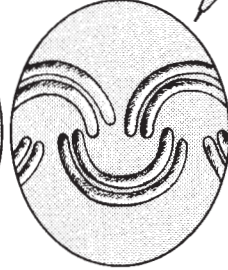
それと、
土器の中に
繊維を混ぜることが
多かったみたい



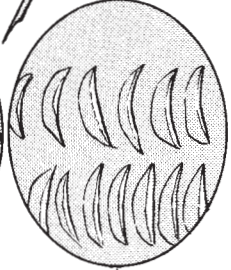
うじょう
羽状縄文



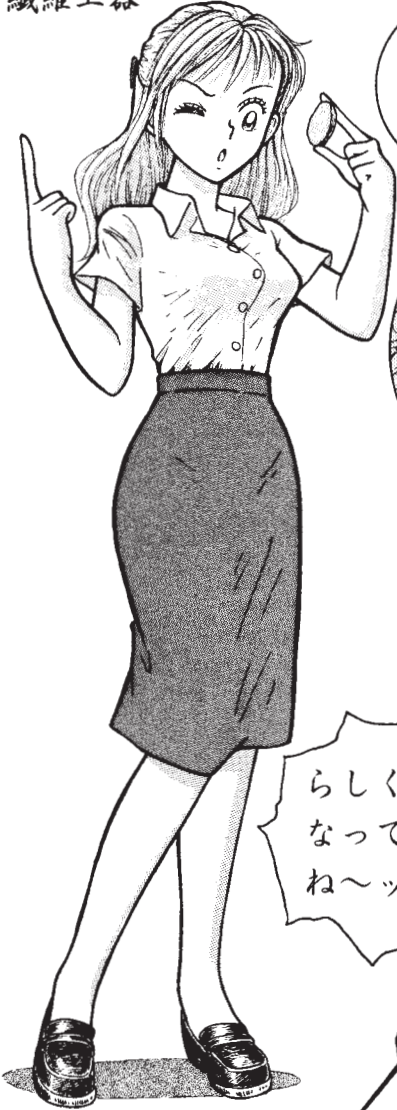
ループ文



コンパス文



つめ
形文



らしく
なってきた
ね〜ッ

でも、やっぱり
いちばん変わった
のは、底の形!

使い方が
変わったんだ
ろーね!

もう、底の丸い
土器なんて
作らないわ



縄文人の
美意識も変化
するのよ

ひらぞこ
平底!

④ 縄文時代中期(4千5百年前～3千5百年前)

一般に“縄文土器”
と言ったら、この時期が
イメージされるように
ポピュラーなんだよ

でも、装飾が
コテコテじゃ
ありません？

ちょっと
大げさよね～



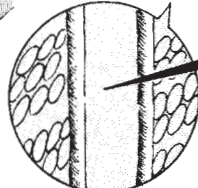
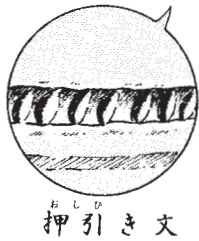
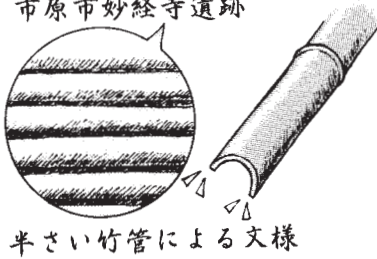
实用美をこえた
すごい突起
「芸術は爆発だ！」

スタイル
セクシーに

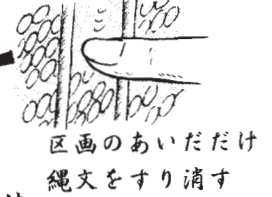
ごりょうがだい
五領ヶ台式土器
市原市妙経寺遺跡

あたまだい
阿玉台式土器
市原市草刈遺跡

かそり
加曽利E式土器
市原市寺ノ台遺跡



縄文とすり消し技法



こういった生活環境
も、この時期に完成
したんだろうね

縄文人って
自然とうまく共存
してますよね

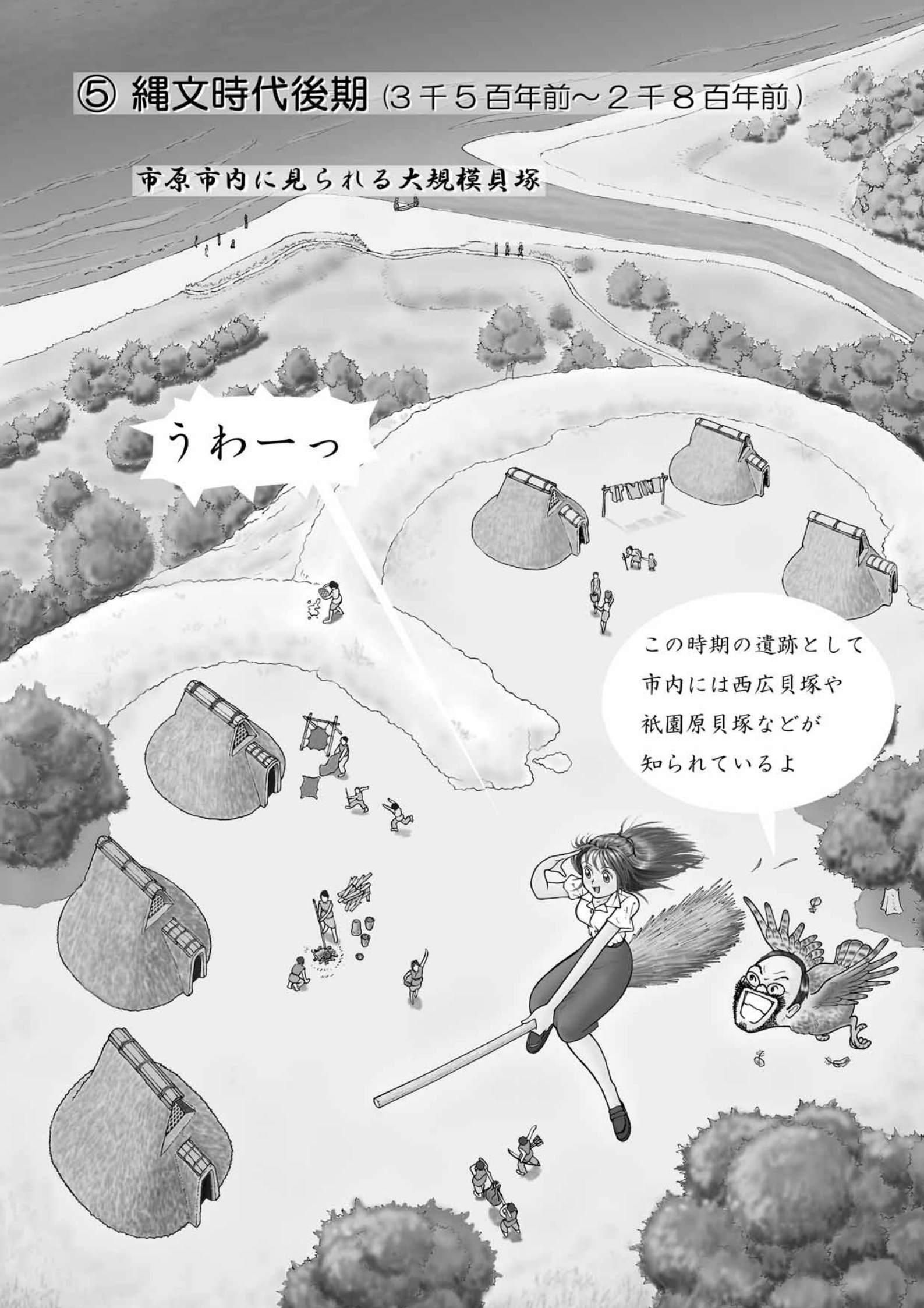


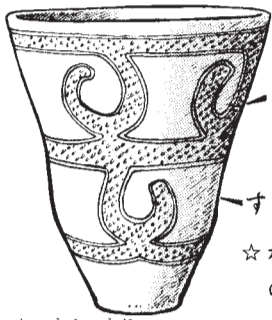
⑤ 縄文時代後期 (3千5百年前～2千8百年前)

市原市内に見られる大規模貝塚

うわーっ

この時期の遺跡として
市内には西広貝塚や
祇園原貝塚などが
知られているよ





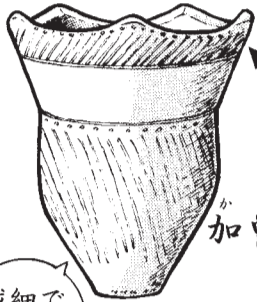
あいかわらず
うずまき文

すり消し文

☆加曾利E式
の伝統

しょうみょうじ
称名寺式土器

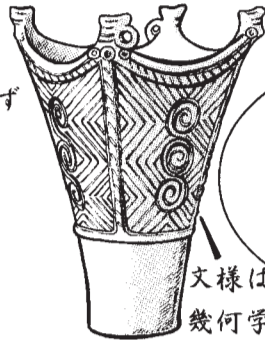
精製・粗製の
2タイプに



かそり
加曾利B式

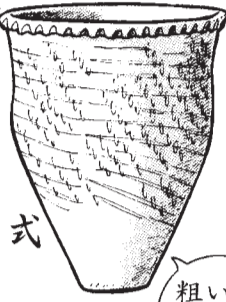
繊細で
きれい

せいせい
精製土器



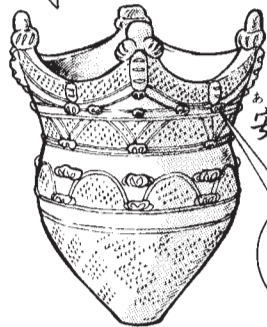
文様は
幾何学的

ほりのうち
堀之内式土器

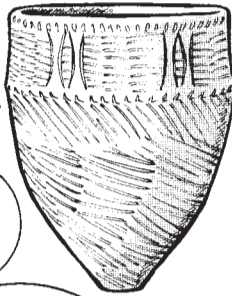


粗い
実用派

そせい
粗製土器



あんぎょう
安行式



安行式の新しい
タイプはブタッ鼻
みたいな飾りが
付くフイ



形がいくぶん
スマートですね

カまかせの
原始美術から
脱皮したって
感じ?

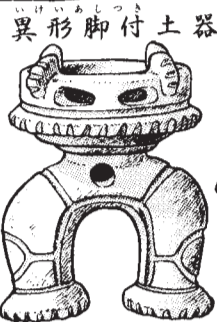


後期後半の
土器って、
ラブリー

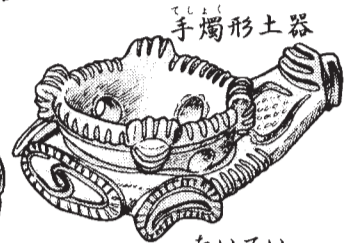
いろいろな形の
ものも登場!



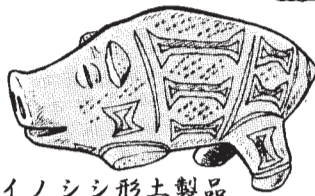
ちゅうこう
注口土器



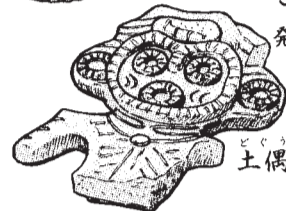
いびいかしつ
異形脚付土器



てしほ
手燭形土器



いのしし
イノシシ形土製品

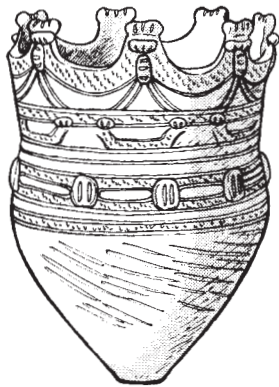


たいてい
こわされた状態で
発見される

どじょう
土偶

⑥ 縄文時代晩期(2千8百年前～2千3百年前)

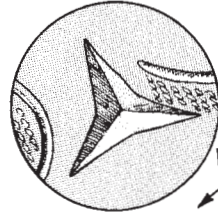
晩期前半



ひき続き安行式土器!



おもしろい流行



さんざ 三叉文



いりくみ 入組文



大洞式土器 (東北地方) の影響よ!

ヨホホツ 全国ブーム!!

かーっこいいな～

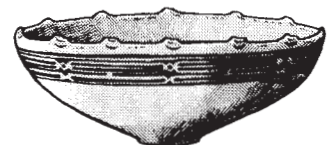
でもね、晩期になると、遺構も遺物も少なくなるんだ

人が減ったのかしら?

わからない! とにかく見つからないんだよね～っ

気候の変化と関わっているらしいぞ

ちあみしき 千網式土器



おおぼらチック!

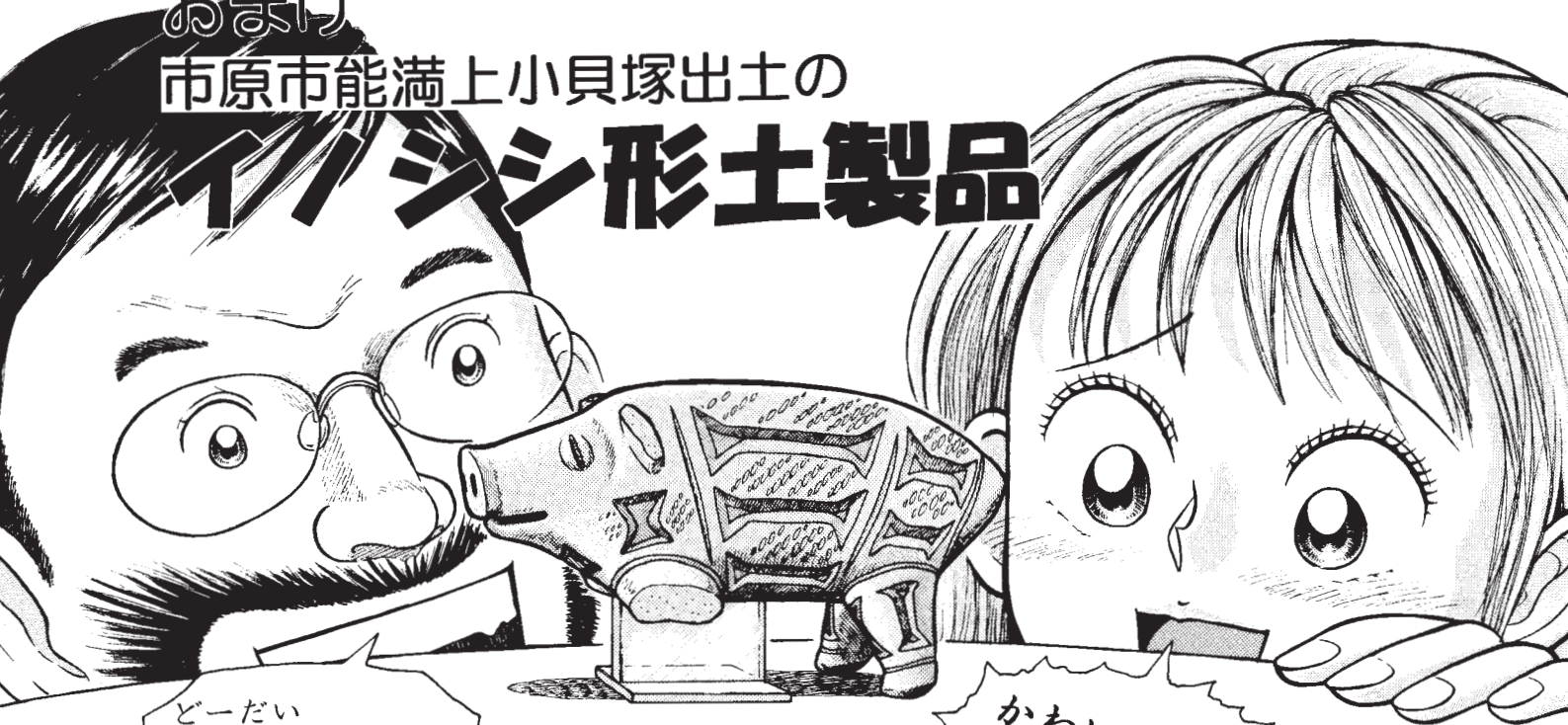
晩期後半の土器が混ざっていた!

市原市山新遺跡—低地の谷で晩期の土器をたくさん発見!—

おまけ

市原市能満上小貝塚出土の

イノシシ形土製品

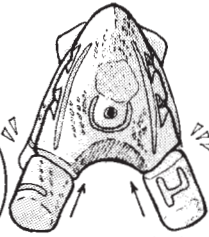


どーだい
こんなリアルなのは
めずらしいんだよ

うしろすがた

かわいい〜ッ
おしりの穴まである

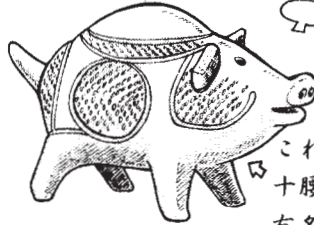
手足がバラバラ
になって発見
されてるんだ



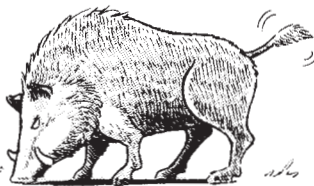
列の住居から発見された脚

何に使ったのかしら
お祭り?

土偶みたいに



これは青森県弘前市
十腰内遺跡出土の
有名なイノシシ



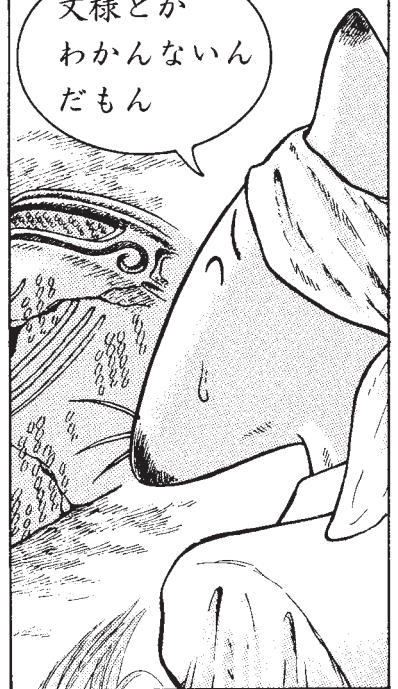
とにかく
縄文人って、
イノシシに
対して
深い思い入れが
あったんですね



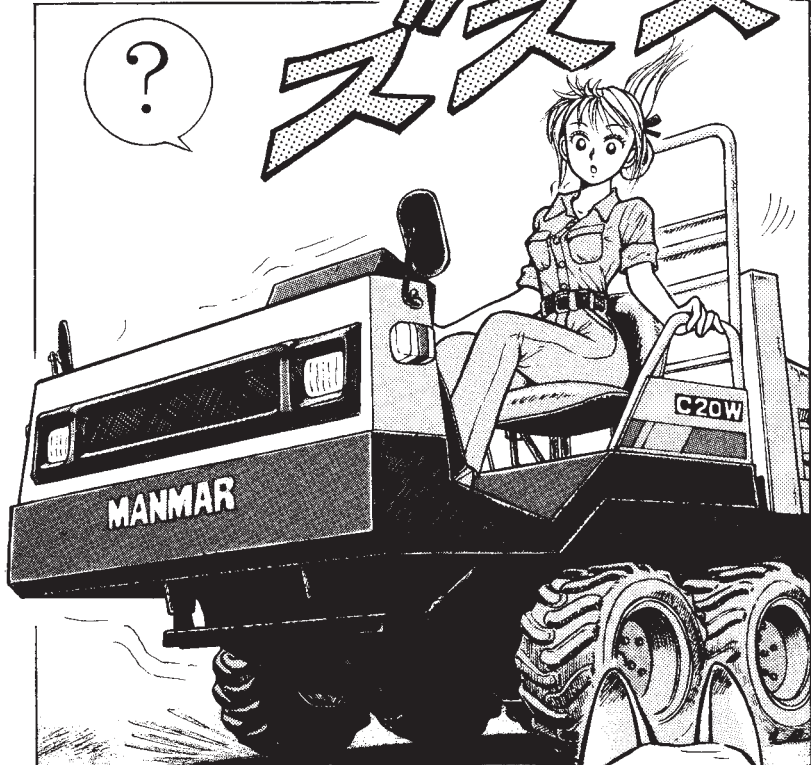


俺、縄文土器って
ニガテなんだよな

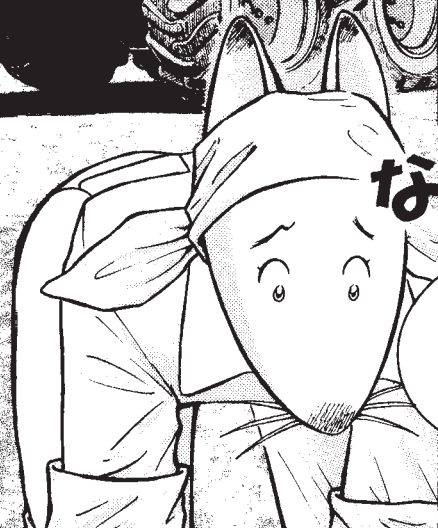
文様とか
わかんないん
だもん



ズズズ



なるみちゃんの便利手帳



おお

次頁へ →

なるみちゃんの便利手帳

縄文土器の文様について



基本の

き

土器に文様をつけることを**施文**（せもん）といいます。また、施文する道具を**原体**（げんたい）と呼び、主にここで紹介する縄文・撚り糸・竹管・貝殻などがあげられます。この原体を回転、刺突、押圧することで土器の表面に様々な文様が現れるのです。

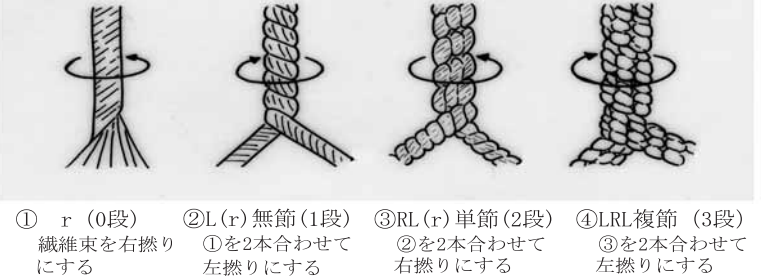
この中で、**縄文**（じょうもん）は多様です。整然とした分類がありますが、用語が専門的なのでちょっと解説。

縄文の原体は縄です。縄は繊維を撚ることで出来ています。撚りの方向は2種類で、**R**（右撚り：第1図①）と、**L**（左撚り）があります。ただし、撚っただけではほどけてしまうので、この縄複数本を撚り合わせます②。こうして縄を太くしてゆくのですが③④、その際

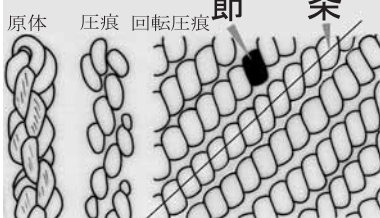
の撚りの方向は前段とは反対方向に撚ることを**正**（せい）、同方向に撚るよることを**反**（はん）と呼んでいま

す。また、下の図を見ると、②以降には斜めに線が見えますが、これを**条**（じょう）、更に③以降には条と

<第1図>



<第2図>



条の間に楕円形が並びますが、これを**節**（せつ）と呼びます。

さて、この条と節ですが、第2図を見ると良くわかります。この図は原体とその原体

を粘土に押しつけて出来た痕、そして、その原体を転がして出来た痕を表したものです。よく見てみると、原体の条と節の傾きが、粘土に残された痕とは反対になっていることが分かります。

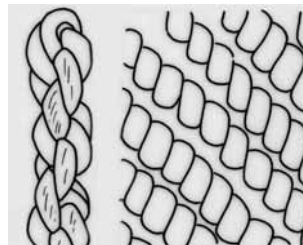
最後は施文の方向です。第3・4図は、原体とその痕（文様）なのですが、文様だけ見ると両者はよく似ています。しかし、左の図はRL単節を横方向に、右の図はLR単節を縦方向に使ったものな

のです。よく見れば、節の傾きが異なることが分かります。

このように、土器の文様を読みとるには、施文に使用した原体の

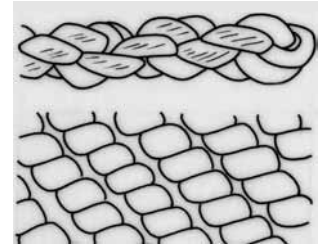
種類だけでなく、施文の方向、順序なども重要な要素となるのです。

<第3図>



RL単節縄文の横回転

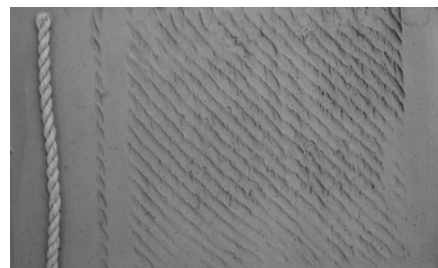
<第4図>



LR単節縄文の縦回転

縄文

この時代の文化概念の総称ともなっている文様だけに、その種類は数百種にも及びます。これら縄文の原体については今から40年程前に山内清男博士により研究がなされました。ここではその内の一部を紹介します。



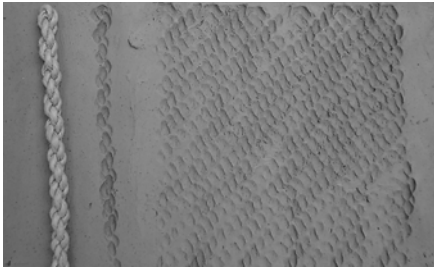
1. 無節縄文 R むせつじょうもん

左に撚った繊維束2本を、1本に合わせて右撚りにした原体。横回転で施文すると条は左上がりに見えます。



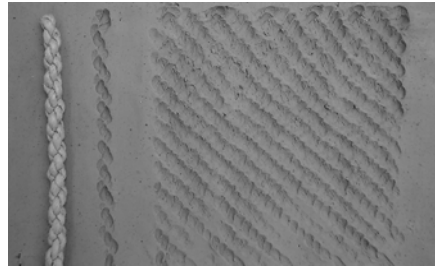
2. 無節縄文 L むせつじょうもん

1の（無節R）と反対に撚った原体。同じ方向に回転すると条は右上がりに見えます。



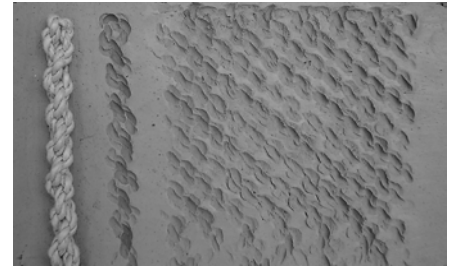
3. 単節縄文 LR たんせつじょうもん

1. (無節R) 2本を、更に左撚りに合わせた原体です。この単節を使った文様が最も多く見られる縄文です。



4. 単節縄文 RL たんせつじょうもん

3の(単節LR)とは逆に撚ったもの。写真を横にすると、条がLRと同じように見えますが、節の見え方が違ってきます。



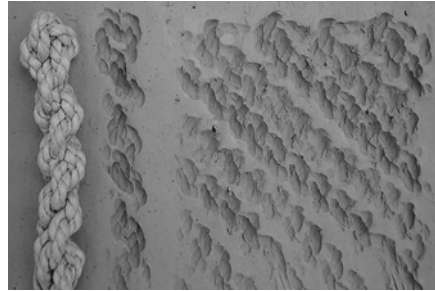
5. 複節縄文 RLR ふくせつじょうもん

ここからはちょっと複雑。繊維束をL→R→L→Rの順番で撚り合わせます。中期の土器に見られます。



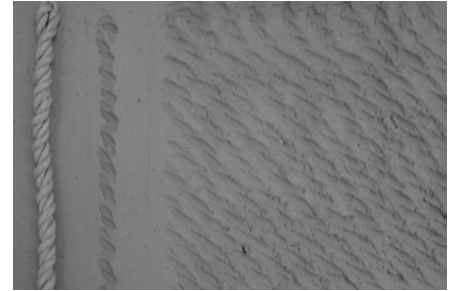
6. 複節縄文 LRL ふくせつじょうもん

5の(複節RLR)とは逆に撚り合わせたもの。大きな節の中に小さな節が見られます。



7. 複々節縄文 RLRL ふくふくせつじょうもん

これまで確認されている中で一番撚りの多い原体です。これはあまり発見されていません。



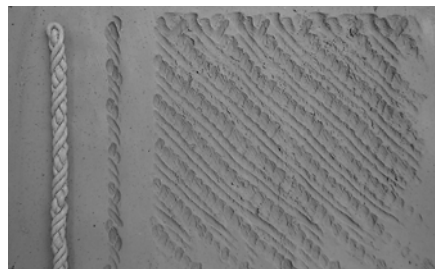
8. 反の縄 RR はんのなわ

1. (無節R)の原体2本を右撚りに合わせたもの。前段と同方向に撚るため撚りがほどけています。前期の土器に見られます。



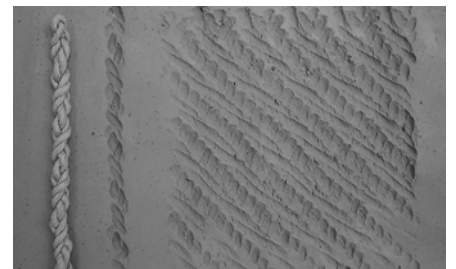
9. 反の縄 LL はんのなわ

8の(RR)とは反対で、2の(無節L)を2本を左撚りに合わせたものです。



10. 正反の合 せいほんのあわせ

1の(無節R)と2の(無節L)の原体を、右撚りに合わせた原体。Rの撚りが戻りきって2本の筋となって現れています。一段の反と呼びます。



11. 正反の合 せいほんのあわせ

10と同じ手順で作った原体ですが、Rの撚りが戻りきっていません。撚りの強さで、雰囲気の違いが現れる例です。



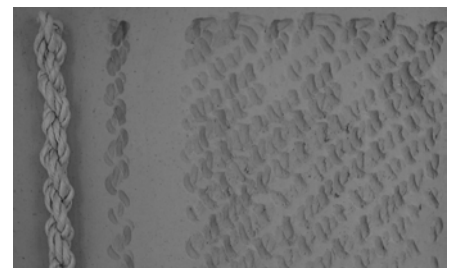
12. 正反の合 LLR せいほんのあわせ

3.(単節LR)の原体2本を左撚りに合わせたもの。2段の正3段の反となります。



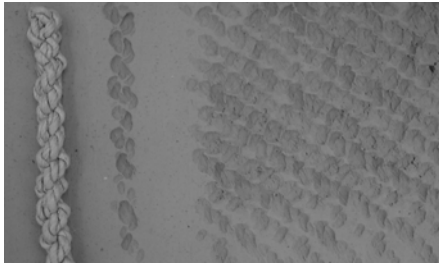
13. 正反の合 RRL せいほんのあわせ

4.(単節RL)の原体2本を右撚りに合わせたもの。2段の正3段の反となります。このような複雑な文様は前期に流行しました。



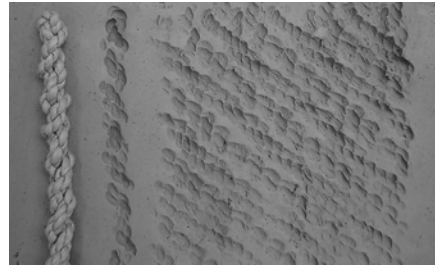
14. 正反の合 LRR せいほんのあわせ

8.(反の縄RR)の原体2本を左撚りに合わせたもの。1段の反2段の正となります。6.(LRL)とだいぶ雰囲気が違いますね。



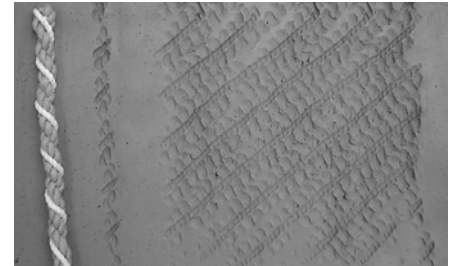
15. **正反の合 RLL** せいはんのあわせ

9. (LL) の原体2本を右撚りに合わせたもの。1段の反2段の正となります。



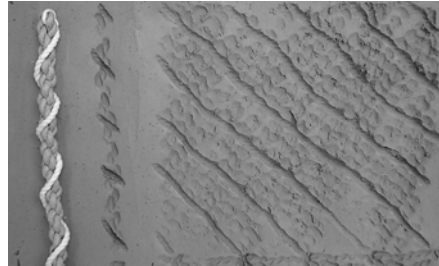
16. **正反の合** せいはんのあわせ

3の(単節LR)と4の(単節RL)の原体を右撚りに合わせています。異条斜縄文(いじょうしゃじょうもん)とも呼ばれ、前期の土器に見られます。



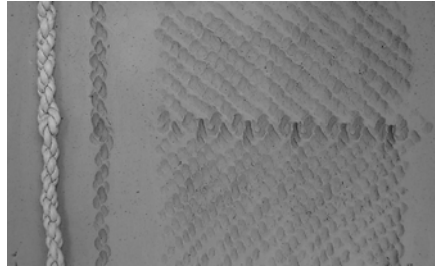
17. **附加条1種** ふかじょういっしゆ

3の(単節LR)の原体の撚り合わせの溝(条)に沿って、1の(R)の原体(白い縄)を巻き付けたもの。関東の弥生時代にも使用されます。



18. **附加条2種** ふかじょうにしゆ

17と同様、3の(単節LR)の原体に1の(無節R)の原体を巻き付けるのですが、溝(条)と反対の回転になっています。



19. **結束縄文** けつそくじょうもん

1の(無節R)と2の(無節L)を交差させ、それぞれ折り返して撚り合わせた原体。羽状縄文とも呼びます。



20. **結節縄文** けつせつじょうもん

この場合は、3の(単節LR)の端部に結び目を作った原体。結びの方向で、S字状、Z字状の文様が現れます。これはS字状です。

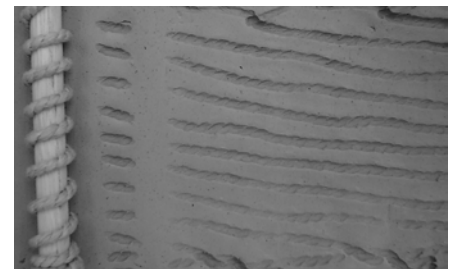


21. **結節縄文** けつせつじょうもん

20と同じ原体ですが、結び目が逆になっているのでZ字状に文様が現れます。

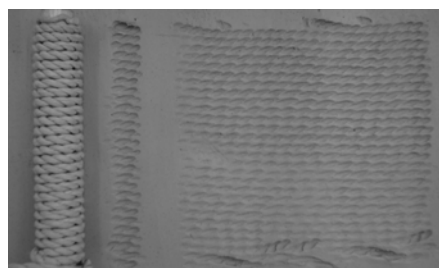
撚糸文

撚り紐を使用することは縄文と同じですが、撚糸文は棒状の軸に撚り紐(よりひも)を巻き付けたものを原体として、文様をつける方法の総称です。縄文時代早期の古い段階から現れます。



22. **撚り糸文** よりいともん

撚り紐を間隔をあけて軸に巻き付けます。写真の場合は1の(無節R)の原体を右巻きに巻き付けています。



23. **撚り糸文** よりいともん

22と同じ原体(無節R)、同方向(右)の巻き付けですが、巻く間隔がこちらは密になっています。



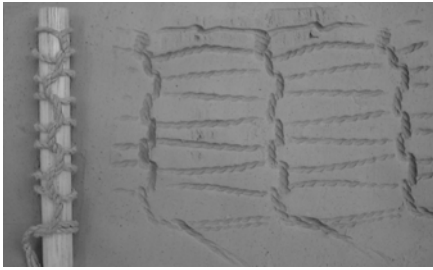
24. **木目状撚糸文** もくめじょうよりいともん

軸の中央で撚り紐の中央を留め、そこからそれぞれ逆巻きにした原体です。今回は棒に深めの溝を付けて、撚り紐を押し込んで留めています。単軸絡条体第1A類に分類されます。



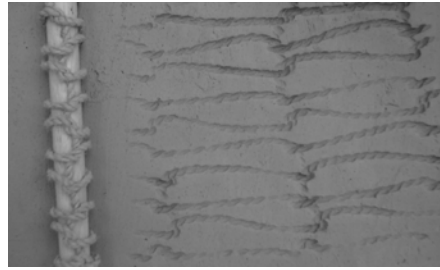
25. **亀甲状撚糸文** きっこうじょうよりいともん

ここから30までは主に東北地方に見られる文様です。参考までに掲載します。写真の文様は単軸絡条体第2類に分類されます。



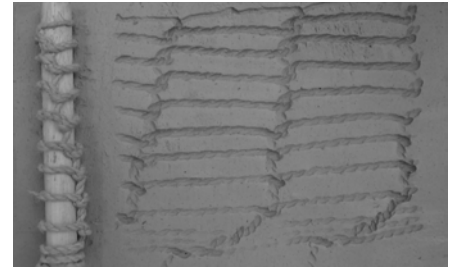
26. スダレ状燃糸文 すだれじょうよりいともん

東北地方の前期に見られる文様で、単軸絡条体第4類に分類されます。



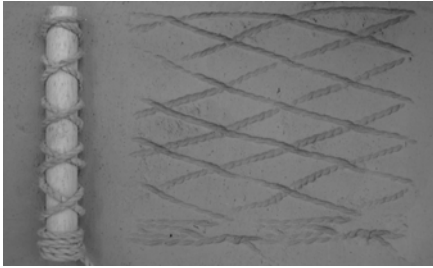
27. 葺瓦状燃糸文 ふきがわらじょうよりいともん

原体（無節R）を反対方向に折り返しながら軸を縛るようにして巻いた原体。



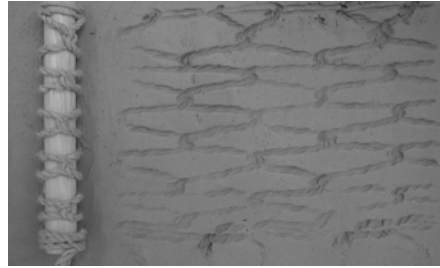
28. 葺瓦状燃糸文 ふきがわらじょうよりいともん

27と同様に軸を縛る様に巻くのですが、同一方向に巻いています。27同様、単軸絡条体第3類。



29. 網目状燃糸文 あみめじょうよりいともん

1本の撚り紐をらせん状に巻き、軸の端で折り返して前の紐に交差させながら巻き上げた原体です。関東地方の早期に見られます。

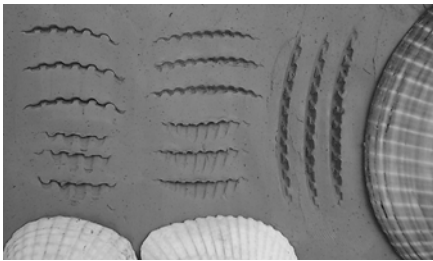


30. 網目状燃糸文その2 あみめじょうよりいともん

東北地方の前期から中期に見られます。29と同様に単軸絡条体第5類。

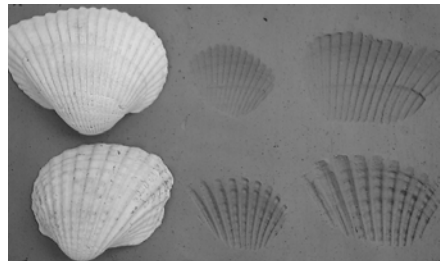
貝殻文

縄文時代の人々は、貝を食料としてだけでなく、施文具として使っています。加工が容易ではないことから、文様のバリエーションは貝種類やの各部位の使い分けによって生まれます。使用される貝の用語については、「2号貝塚篇」を参照して下さい。



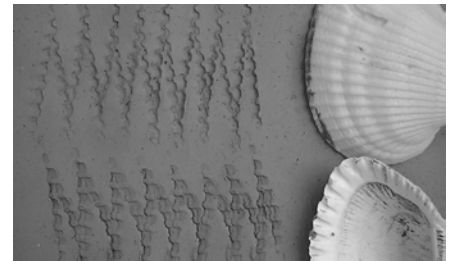
31. 貝殻腹縁文 かいがらふくえんもん

貝殻の腹縁を押しつけます。貝殻の角度や方向の組み合わせで文様を作ります。左からハイガイ、サルボウ、ベンケイガイ。



32. 貝殻殻表・殻頂圧痕文 かいがらかくひょう・かくちょうあつこんもん

貝の殻表や殻頂を押し当てた文様。サルボウ（上）、ハイガイ（下）



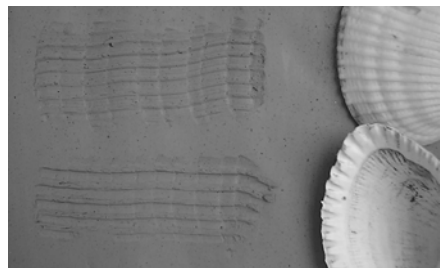
33. 貝殻腹縁連続波状文その1 かいがらふくえんれんぞくはじょうもん

貝殻の腹縁を角度を変えながら連続して押し当ます。サルボウを使用。



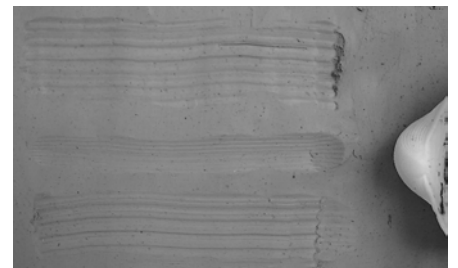
34. 貝殻腹縁連続波状文その2

33.と同じ方法でつけた文様。ハマグリを使用。



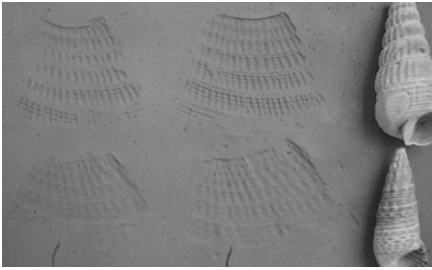
35. 貝殻腹縁押し引き文 かいがらふくえんおしひきもん

貝殻の腹縁を土器に押し当てて途中止めながら引きずるとできる文様。サルボウを使用。



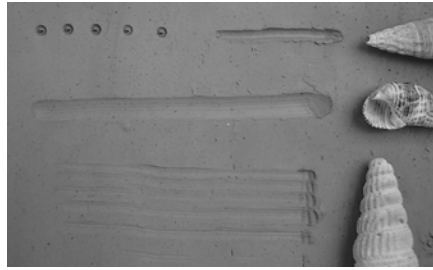
36. 貝殻条痕文 かいがらじょうこんもん

貝殻の腹縁の内、外側、殻頂部を放射肋と平行方向に引きずります。早期後半に器面の調整を兼ねて多用されました。サルボウを使用。



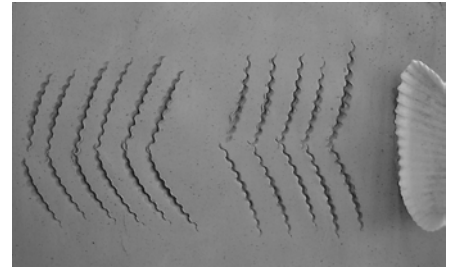
37. 丘痕文・回転文 あっこんもん・かいてんもん

巻き貝のイボ状突起、縦肋、ら肋の凹凸を利用して。ヘナタリ（上）、ウミニナ（下）。



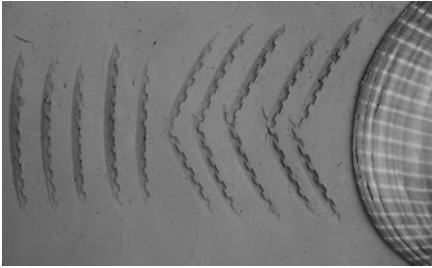
38. 刺突文・条痕文 したつもん・じょうこうもん

殻頂や、外唇の外側、ら塔部を利用して。ウミニナ（上・中）、ヘナタリ（下）。



39. 貝殻腹縁丘痕文の組み合わせ その1

サルボウを使用。

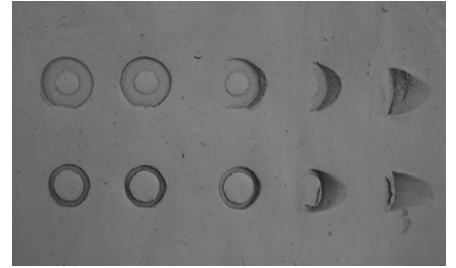


40. 貝殻腹縁丘痕文の組み合わせ その2

ベンケイガイを使用。

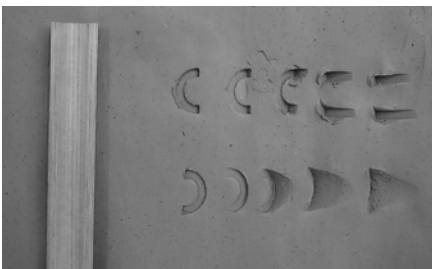
竹管文

竹または中空の茎を原体として使用しています。これに簡易な加工を加えた切断面を利用してつけられた文様の総称です。沈線文などは早期から晩期まで見られ、縄文に次いでポピュラーな文様要素といえるでしょう。



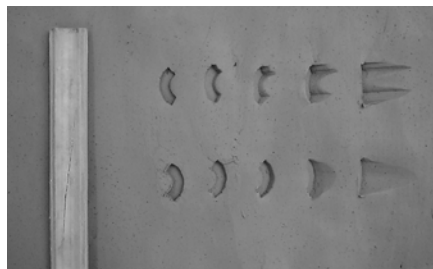
41. 竹管文 ちくかんもん

竹を横に切ったものを使用。角度を変えることで円形文（左）～爪形文（右）のようになります。



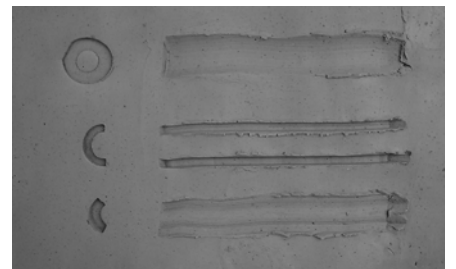
42. 竹管文 その2

竹を縦に半分に割ったものを使用。土器に対する角度や竹の内側、外側の違いで文様は変化します。



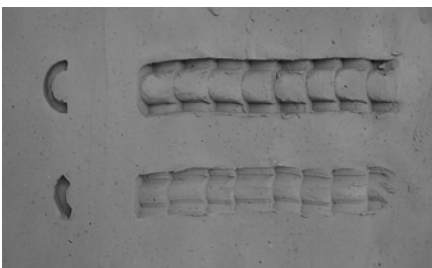
43. 竹管文 その3

竹を縦に1/3程に割ったものを使用。やはり土器に対する角度を変えてみると文様が変わります。



44. 竹管文 その4

34～36の原体を土器に当てながら引きずると沈線文（上）や、平行沈線文（中・下）ができます。



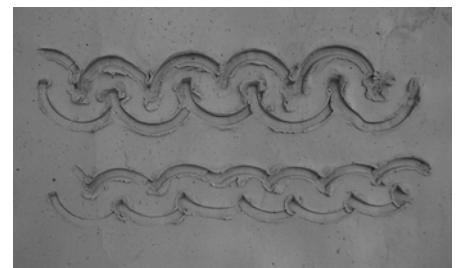
45. キヤタピラ文

35、36の原体をバウンドさせるように引きずるとこのようになります。中期前葉に見られます。



46. 押し引き文 おしひきもん

38と同じ動作で、34～36の原体の外側を使用するとこのように。中期前葉に見られます。

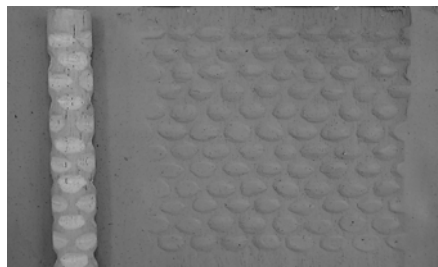


47. コンパス文

35の原体を使用して出来ます。写真上と下では回転幅が違うだけです。前期に見られます。

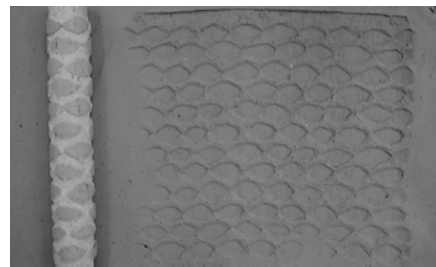
その他の文様

これまで紹介した以外にも文様をつける際の道具、方法が沢山わかっています。これらの組み合わせによって複雑で多様な文様が表現されているのです。



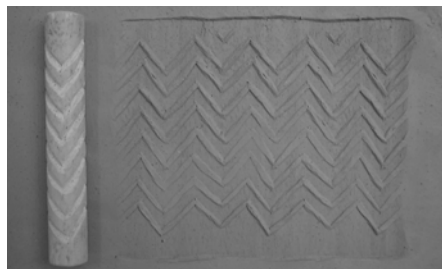
48. 押型文(ネガ楕円文)
おしがたもん (ねがだえんもん)

押型文は早期に中部、近畿地方を中心に、展開した文様です。丸い棒に楕円形の刻みを入れて転がすとできる文様です。



49. 押型文(楕円文)
おしがたもん (だえんもん)

48とは逆に楕円部を削り残した原体です。



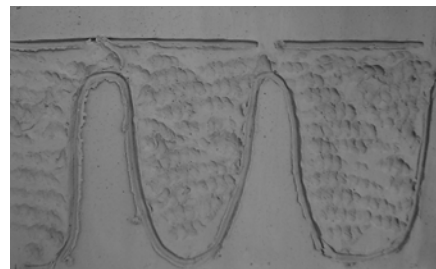
50. 押型文(山形文)
おしがたもん (やまがたもん)

丸い棒にのこぎりの刃のような形に刻みを入れて転がしたものの。



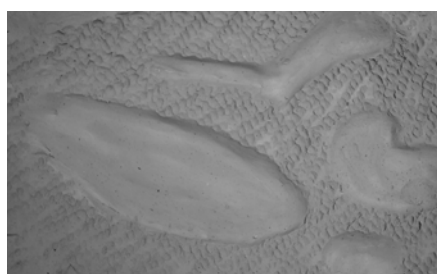
51. 磨消縄文 すりけしじょうもん

ここからはこれまでの組み合わせ技。縄文をつけてから、沈線で困んだ内側をなで消しています。



52. 充填縄文 じゅうてんじょうもん

43によく似ていますがピミョーに違います。沈線→縄文なので縄文の方向が様々。わかりますか？



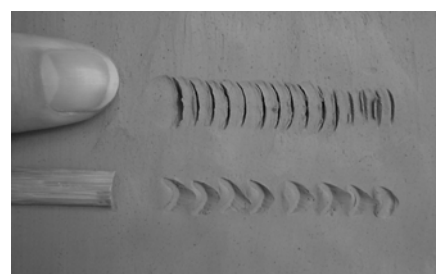
53. 磨消縄文 その2

ここまできると芸術的。縄文をつけてからその周りを削り込んで磨いているので立体的です。晩期に流行します。



54. 隆起線文 りゅうきせんもん

器面に粘土紐を貼り付けたもの。他に、指で強くこすり寄せて作る微隆起線文や、太く粘土紐を貼る隆帯などがあります。草創期から見られます。



55. 爪形文 つめがたもん

草創期の土器に見られます。人の爪や、半截(半截はんさい)竹管などを刺突して文様を作ります。



◆加曾利E式土器◆

1979年に市原市の小田部小谷吹上遺跡から出土した深鉢型土器です。縄文時代中期後半のものと考えられています。2002.12現在、この土器は市原市役所1階に展示されているのでお出かけの際は覗いてみてください。



渦巻文

粘土ひもを渦巻状に貼付けて、その両側に棒状の工具で線を引いて縄文との境界にしています。この土器の場合は渦巻が円形の区画になっていてその中に縄文がつけられています。渦巻は古い段階のものほど強く巻いている傾向があるので、この土器は新しい様相が入っていると言えるでしょう。

懸垂文

縄文をつけた後に縦方向に2本一組の線を引いてその間の縄文を磨り消して、無文の部分を作っています。前後を一周してみると無文と縄文の区画が交互に配置されているのがわかります。

編集後記

さとしの部屋

お便りA さとし君、貴方は、見ていて飽きない、何をしでかすか分からない、実に不思議な人です。喜怒哀楽が激しく、その頂点ではなんと鳥にまで、変身してししまう。天真爛漫なその性格に私の日々の悩みも解消されます。なるみちゃんとのコンビも微笑ましく読んでいます。(21才学生)

→ 僕へのお便りはまだ数少ないので大変嬉しく思いました。自分自身の性格がまだ分析できていませんのでこれからどのような行動をとるか分かりません。モデルはいるのですかと聞かれますが、それは内緒です(笑) (さとし)

お便りB ここ数年、埋蔵文化財の整理作業に携わっていますが、専門性が高く、覚えなければならないことが多いので、大変苦労しました。土器ひとつとっても、いつ頃の物で、どのように使ったか…など興味は尽きないのですが、調べようとしても、専門書は私にとっては難解です。「発掘って…」の分かり易さに今後も期待します。(主婦)

→ お便りありがとうございます。ある程度の専門性を踏まえつつ、面白く、分かり易くをモットーに今後も精進して参ります。なお、アンケートは内容を一新しましたので、又ご意見頂けると幸いです。(編)

バックナンバー (各50円)



創刊はじめまして号(住居跡篇)

堅穴住居跡の発掘手順と構造についてわかりやすく解説しています。付録の用語集と「なるみちゃんの便利メモ」も必見。



おまたせ第2号(貝塚篇)

貝塚の発掘から整理作業までをわかりやすく解説しながら、その秘密にせまります。付録「なるみちゃんの便利手帳」をめくればあなたも貝博士?



第2号別冊(なるみちゃんの貝輪教室)

縄文時代のアクセサリ

“貝輪”を、なるみが作ります。みなさんもぜひチャレンジしてね。



(財)市原市文化財センター
〒290-0011
千葉県市原市能満 1489

お便りC 絵が多いのはいいと思うけれど、少々ポップすぎるのでは? 例えばさとしくん。なんでトリになるの? それにアシスタントの誰だっけ、あのキャラクターもこんなにオーバーに描かなくてもいいんじゃないかと思う。とにかく、埋蔵文化財に関することなんだから、もっと高度な内容で専門的にやって下さい。研究の道は奥が深いのですから。(考古学関係者)

→ 本誌は研究目的の専門誌ではございません。より多くの方々に埋蔵文化財の世界を知っていただくために作られたものです。その辺をご理解いただければ幸いです。(さ)

ごめんなさい(涙)、反省してます。(なるみ)



アンケートやお便りで送って頂いたご意見は、編集後記で掲載させて頂くことがあります。

どきマップ

いろいろ
あるだろー



手永遺跡

草刈遺跡

八幡宿

千葉労災病院

上小貝塚

市原市埋蔵文化財
調査センター

市原市役所

祇園原貝塚

小谷吹上遺跡

上総村上

東間部多遺跡

西広貝塚

天神台遺跡

海上有木

武士遺跡

内房線

五井

上総三又

山新遺跡

妙経寺遺跡

帝京大学市原病院

南原遺跡

国道
297号

小湊

馬立
鉄道

どこから
行こうかしら



発掘ってなあに 第3号 縄文土器篇

発行日 平成15年 1月30日

編集・発行 (財)市原市文化財センター